

# ひろしま 県民だより

広島県の **今** を伝える。

1月3日発行 第343号平成28年(2016年)

## チャレンジビジョン特集号

広島県では、目指す姿の実現に向け、県民の皆さんとともに“一步先”へ踏み出すため、「ひろしま未来チャレンジビジョン」を改定しました。

このチャレンジビジョンに基づき、人づくり、新たな経済成長、安心な暮らしづくり、豊かな地域づくりのさらなる好循環を生み出し、新たな挑戦を推し進めます。

### 広島県を目指す姿

**仕事でチャレンジ!  
暮らしをエンジョイ!  
活気あふれる広島県**

仕事も暮らしも。  
欲張りなライフスタイルの実現



スペシャル対談

野球解説者

前田 智徳 × 湯崎 英彦

広島県知事

# 「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と、心から思える広島県の実現へ。

「ひろしま未来チャレンジビジョン」を改定し、新たな挑戦を推進する広島県。今回は、湯崎知事とともに、元広島東洋カープの選手で、現在は野球解説者として活躍する前田智徳さんに、広島県の魅力や可能性、将来の展望についてご自身の経験談を交え、熱く語っていただきました。

**以前にも増して人口減少が進んでいる。**

湯崎 前田さんは広島に住んで何年になりますか？

前田 25年です。故郷の熊本より、広島での生活が長くなりました。

湯崎 実は、前田さんが来られた平成2年と比べると、広島県の人口は約1万6千人も減っています。とりわけ少子化の進行は深刻です。

前田 私の次男も野球をやっているのですが、野球少年がかなり減っていますね。

湯崎 広島県では子育てしやすい環境づくりに取り組んでいるのですが、それでも一人の女性が産む子供の数はまだ低い状況にあります。子育てをもっと応援していくことが県の課題になっていきます。

**仕事も暮らしもあきらめない欲張りなライフスタイルを。**

湯崎 ひろしま未来チャレンジビジョンでは、広島県が目指す姿を掲げています。それが「仕事でチャレンジ暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県」。

前田 県のキャッチフレーズとしては非常にめざらうですね。

湯崎 どんな人にも、仕事でも「こうなりたい」と



という希望があると思います。実現しようとする家庭生活がおろそかになるのではないかと考えがちです。しかし、効率的に働いて時間に余裕が生まれると、家族との時間や趣味を楽しむことができると思います。そうした仕事も暮らしもあきらめずに楽しめる欲張りなライフスタイルの実現をサポートしていきます。

前田 「欲張りなライフスタイルですか。これも印象的な言葉ですね。」

湯崎 仕事も家庭も両立できる環境こそが世界のスタンダードです。通勤にもレジャーの移動にもかなりの時間がかかってしまう東京のような大都会とは違い、欲張りなライフスタイルを実現できるのが、広島県の強みだと思います。

湯崎 広島県の強みと言えば、郷

**郷土愛の強さこそ、広島県の強み。**

湯崎 広島県の強みと言え



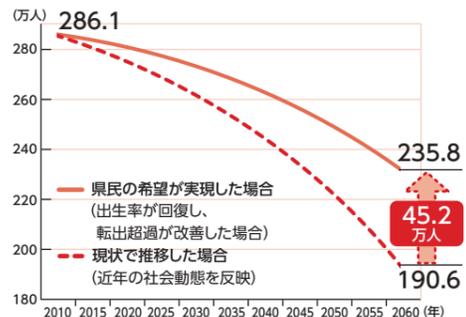
野球解説者 前田 智徳

熊本県出身。1989年にドラフト4位で広島東洋カープに入団。度重なるケガに見舞われながらも卓越した打撃センスで、2007年には通算2000本安打を記録。現役引退後は、野球解説者のほか、イベントやテレビ出演など多方面で活躍。趣味はゴルフ等。

## 広島県の人口ビジョン

### 広島県人口の将来展望

現状で推移した場合、2060年の人口は200万人を下回る見込みです。しかし、出生や社会移動に関する県民の希望が実現し、合計特殊出生率や転出超過が改善した場合、2060年の人口は約235万人となり、約45万人の押し上げ効果が期待できます。



### 高齢者を支える現役世代の人数

このまま高齢化が進むと、2060年には現役世代1.3人で1人の高齢者を支える社会に。しかし、出生や社会移動に関する県民の希望が実現すると、1.8人で1人の高齢者を支える人口構造となり、県民一人当たりの負担の増加は軽減されます。



- ☆「出生や社会移動に関する県民の希望」(県がH27に実施した調査より算出)
- ・県民希望出生率…1.85
- ・県内での進学を希望する県内高校生の割合…61.2%
- ・県内での就職を希望する県内大学・短大生の割合…66.3%
- ・県出身で大都市圏に居住する若者のUターン希望…68.5%

### 目指す姿の実現に向けた視点

- イノベーション**  
フロンティア精神にあふれた県民性を生かし、様々な分野でイノベーションを起こして、生産性や暮らしの利便性の向上を図る。
- ファミリー・フレンドリー**  
保育・教育・医療の充実、住環境の向上など、家族で住みたい環境づくりを通じ、誰もが暮らしやすい広島県の実現を目指す。
- 都市と自然の近接ライフ**  
都市と自然が近く、どちらの魅力も満喫できる環境を生かし、都市も自然もスマートに楽しむライフスタイルの魅力に磨きをかける。



宅するというのが普通ですからね。

前田 カープ、サンフレッチエ、JTサンダーズといったプロスポーツチームがたくさんあるのもいいですね。「流選手のプレーを肌で感じられる機会が身近にあることは、子供たちにとって大変良い刺激になると思います。」

湯崎 キャンプやスキーなど自然を満喫できる場所も多いんです。

前田 私も子供たちと一緒に、念願のスキーにチャレンジしたいと思っています。

湯崎 広島はスキー場も近いので、ぜひ都市と自然の近接ライフを満喫してください。

**究極のホームタウンを目指して。**

湯崎 広島は実はすごいところなので、ぜひその良いところを県民の皆さんにも意識していただいて、「究極のホームタウンひろしま」を自ら感じ、県外の方にも発信していただきたいと思っています。目指す姿の実現に向けて、我々も挑戦を続けます。

前田 今日のお話で、当たり前のように暮らしていた広島県の魅力を再認識させていただきました。自分自身もいろいろなことに挑戦していきたいという意欲が湧いてきました。

湯崎 仕事も暮らしも欲張りなライフスタイルの実現に向けて、ともに頑張りましょう。本日はありがとうございました。

前田 こちらこそありがとうございました。

**イノベーションは、二つひとつの地道な積み重ね。**



湯崎 先ほどの目指す姿を実現するため、3つの視点を持って様々な取組を進めようとしています。そのひとつが「イノベーション」です。前田さんも、新しいアイデアで打撃を改良するなど、イノベーションを起こされたと思うのですが。

前田 野球で実績を残されている選手に直接アドバイスをもらいに行ったこともあり。その中で吸収できるものを取捨選択し、試行錯誤しながら身につけていきました。ただ練習でできて、試合になるとそううまくはいきません。我慢して挑戦

し続けなければ、「できた」という瞬間は決して訪れることはないと思います。

湯崎 企業活動もそうですね。どんな製品でも何もないとこから突然ポンと生まれることはなく、二つひとつの地道な積み重ね。そこに、新しいアイデアを取り入れることによって、真のイノベーションが生まれると思います。

前田 黒田選手も温かい声援を送ってくれたファンの期待に応えたいという思いで、広島に帰ってきたのだと思います。

湯崎 現役時代、オフの時は家族とどう過ごしていましたか？

前田 それが父親失格です。オフの間も、ファンの期待に応えるために毎日トレーニングをしていました。今は子供たちとの外食や息子の野球の手伝いなど、現役時代にできなかったことを積極的にやっています。少しずつ家族に対して恩返しができるようになるのかなと。

湯崎 広島県では、日本一家族で暮らしやすい「ファミリー・フレンドリー」な県を目指しているんです。前田さんのように、家族との時間をゆつくりと楽しめる環境づくりに力を注いでいます。

湯崎 都市も自然もスマートに楽しむ暮らしこそが広島県の魅力。

湯崎 都市も自然もスマートに楽しむ暮らしこそが広島県の魅力。

# 広島県の目指す姿の実現に向け、“一歩先”へ踏み出している方々の声。

## イノベーション



**バス利用を便利にする  
ツールを開発しました。**

前紅三子さん(広島市在住)

悪天候や交通事情により定刻どりに到着しないバスを待つ人達の負担を軽くしたいと思い、「BUSit(バスイット)」を開発しました。スマートフォンをバス停のステッカーにかざす、あるいは、QRコード

で利用できます。操作が簡単でわかりやすい、バスの待ち時間のイライラが解消され、便利になったという声を聞いて、本当に嬉しく思っています。



## ファミリー・フレンドリー



**広島は家族で暮らしやすい  
環境だと思います。**

奥田牧子さん(広島市在住)

夫の赴任先の広島での育児生活を経て、東京よりも質の高い生活が送れると実感し、勤務先に転勤を申し出て、広島での家族生活を始めました。実際に暮らしてみると、保育園や子育て支援の施設などが近くにあるし、塾などのインフラも驚くほど充実しています。これからもずっと住み続けたいと思うほど、広島は家族で暮らしやすい環境ですね。



## 都市と自然の近接ライフ



**趣味のヨットと仕事を  
両立しています。**

平田欽也さん(広島市在住)

仕事帰りに度々マリーナに寄って、ヨットの様子を見たり、仲間とクルージング計画を立て、休日には瀬戸内海の島々をめぐるしています。また、ヨットクラブのメンバーとして、地域の方々に海を身近に感じてもらうボランティア活動もしています。ヨットを通じて子育てにいい影響がありましたし、人脈が広がり仕事にもつながりました。



**出会いと刺激のある  
毎日を送っています。**

中本愛子さん(安芸高田市在住)

勤務先の安芸高田市から、車で広島市内のトレーニングサークルに参加しています。このサークルでは、地元では経験できない、さまざまな職種の方との出会いなど、たくさんの刺激をもらっています。また、仕事を定時で終える努力をすることで、メリハリのある生活を送っています。これからも生活を充実させ、いろいろなことに挑戦してみたいですね。



## ★プレゼントコーナー★

**前田智徳さん  
サインボール&  
トートバッグを  
プレゼント!**

カープファンには  
たまらない!



ケース付!

※写真はイメージです。

抽選で  
10名様

【応募内容】前田智徳さんのサインボール(ケース付)  
・観戦トートバッグ

【応募締切】1月31日(日)消印有効  
【応募先】〒730-8511(住所不要)広島県庁広報課「プレゼント係」  
【応募要項】はがきに住所・名前(ふりがな)・年齢(○歳代)・県民だよりのご感想(今回の掲載内容について)を明記の上、郵送してください。県HPからも応募できます。

※ご応募はお一人様1回のみ有効となります。個人情報保護法に基づき、プレゼント発送と読者層の調査のために利用します。なお、ご感想を県HPに掲載させていただく場合があります。

人口 2,827,489人(昨年同月より6,263人減) 世帯数 1,244,110世帯

男 1,365,244人 女 1,462,245人 ※平成27年(2015年)11月1日現在 出典:広島県人口移動統計調査

### チャレンジビジョンHP情報

チャレンジビジョンの改定の趣旨や、ポイントなどを掲載しています。



<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/challenge/miraichallengevision-kaitei.html>

### チャレンジビジョンの広報・普及情報

様々な媒体により情報発信した内容を掲載しています。



<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/challenge/vision-koho.html>

### 出前説明会情報

県民の皆様からの要望に応じて職員が出向く出前説明会の情報を掲載しています。



<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hirosihmamiraichallengevision/1290231870097.html>

※これらのQRコードはスマートフォンのみ対応しています。

県民だよりに関する  
お問い合わせは、

広島県総務局  
広報課

住所/〒730-8511 広島市中区基町10-52  
TEL/082(513)2372 FAX/082(228)4429  
Eメール/soukouhou@pref.hiroshima.lg.jp

次回の「県民だより」は平成28年4月1日(金)に発行します。

「県民だより」は、県の施設、市町窓口、県内の主なコンビニエンスストア・スーパーなどでも配布しています。また、点字版、録音版も発行していますので、ご希望の方は広島県総務局広報課へご連絡ください。

あなたに役立つ情報をお届けしています。

広島県公式 twitter  
[http://twitter.com/hiroshima\\_pref](http://twitter.com/hiroshima_pref)



広島県公式 facebookページ  
<http://ja-jp.facebook.com/pref.hiroshima>



広島県のホームページ  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>

